

(集中山行) 北アルプス

飛驒山脈 ^{やけど}焼岳 2455m : 日本 100 名山

2023/9/16~9/17(小屋1泊)



荒々しい崩壊 爆裂火口と関係があるのか



崖を渡るはしごがやや不安定

概要 <アクセス> 新大阪駅→名古屋：新幹線→松本駅：松本電鉄→新島々駅→BUS→帝国ホテル前下車（上高地ルート）

<山城：飛驒山脈>

<天候 晴れ時々曇り>

<参加メンバー>男1人：単独

集中山行の集合前日 9月16日に北アルプス唯一の活火山：焼岳に登った。焼岳は登山の楽しさがぎゅっと詰まっている山だった。

焼岳は、飛驒山脈の中で唯一活動している活火山であり、2014年にも地震群発があった。山頂付近には火口湖の正賀池を挟んで真南に岩峰の南峰（登攀禁止）、真東に北峰がある。現在は2022年年7月に、噴火警戒レベルがレベル1に引き下げられた。

穂高連峰の端にあるためか、注目度が低いと思っていたが登ってみるとそうでもないことがわかった。

帝国ホテルの横から田代橋を超え林道を少し歩いて登山口に着く。火山特有の岩が登山道のあちこちにある。

途中には、3連直結のはしごや崖渡しのアルミはしごなど難所がある。松本市営のランプの小屋：焼岳小屋（現在はLED）に到着し、自炊をして消灯時間の20時に就寝

17日明るくなった5時半に小屋を出発。尾根に上がるとあちらこちらに水蒸気があがる箇所があり、時折硫黄のにおいも近づく。北峰にあがると360度の展望が得られ、穂高連峰、槍ヶ岳、御嶽山、白山方面まで見える。居合わせた他の登山者と地図を使っての山座同定が楽しい。下山して上高地周辺をゆっくり観光して、集合登山の宿舎の横尾山荘にむかった。（H・U）

<コースタイム>

9/16（土）新大阪駅 6：10→名古屋：新幹線→松本駅乗り換え/松本電鉄→新島々駅 10：15→バス移動 帝国ホテル 11：55 下車
田代橋 12：40→焼岳小屋 15：05 着

9/17（日）焼岳小屋 05：30→焼岳 08：30→眺望タイム→下山→ 上高地 BT→小梨平キャンプ場→明神分岐→徳澤園→新村橋（パノラマコースの一部探索）→横尾山荘 16：00 着



1. 上高地帝国ホテルの左横から行く



2. 活火山であることの注意



3. 3連アルミはしご 冬季には雪崩損壊防止のため外される



4. 定員 25 名の焼岳小屋



5. 朝焼けの焼岳



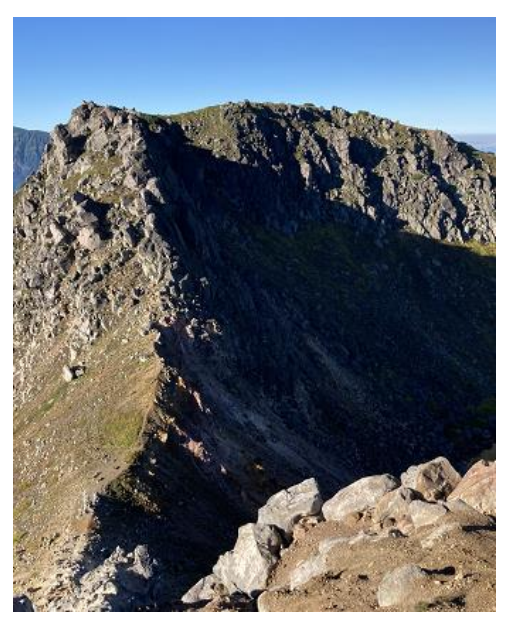
6. 登山路の横に水蒸気噴煙の穴が



7. 硫黄の噴煙があがる



8. 爆裂火口の火山湖 正賀池



9. 荒々しい焼岳南峰